

平成28年度

応急仮設住宅(プレハブ)入居者
健康調査報告書

目次

	ページ
I 調査の概要 -----	1
II 結果の概要 -----	2
1 世帯の状況 -----	2
2 調査対象者の属性 -----	3
3 健診の受診状況 -----	5
4 疾病の状況 -----	5
5 体調 -----	7
6 心の問題 -----	8
7 心の動揺 -----	9
8 不眠の状況 -----	9
9 飲酒の状況 -----	10
10 食欲及び体重変化の状況 -----	11
11 相談相手の有無 -----	12
12 体を動かす機会の変化 -----	13
13 行事への参加状況 -----	14
14 要介護認定の状況 -----	15
15 障害者手帳の有無 -----	15
16 前回に引き続き回答があった方の状況 -----	16
17 平成28年度応急仮設住宅(プレハブ) 入居者健康調査結果(市町別の主な項目) -----	17
III (参考)調査票様式 -----	18

I 調査の概要

1 調査の目的

応急仮設住宅(プレハブ)での生活が長期化するに伴って、様々な健康問題の発生が懸念されることから、入居者の健康状況を把握し、要フォロー者を必要な健康支援事業に結びつけるとともに、施策展開の基礎資料とすることを目的として平成24年度から実施しているもの。

2 実施主体

宮城県及び応急仮設住宅(プレハブ)を管理する5市町(名取市、亶理町、石巻市、東松島市、南三陸町)の共同実施。

3 調査対象

上記5市町が管理する応急仮設住宅(プレハブ)の入居者 4,034世帯

4 実施時期

平成28年9月～11月

5 調査方法

- (1) 配布 市町の支援員等による戸別訪問
- (2) 回収 市町の支援員等による戸別訪問又は郵送

6 調査項目

- (1) 個人属性(氏名, 性別, 生年月日, 続柄, 職業)
- (2) 健康状況(身体的・心理的状況, 身体活動・社会性の状況など)

7 配布回収状況

- (1) 配布世帯数 4,034世帯
- (2) 回収世帯数 2,313世帯
- (3) 回収率 57.3%
- (4) 有効回答人数 4,245人

*調査結果に掲載している数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳合計と総数とが一致しない場合がある。
*項目ごとに有効回答者数が異なる場合がある。また、各項目の母数(有効回答者数の計)は表中の()内に記載した。

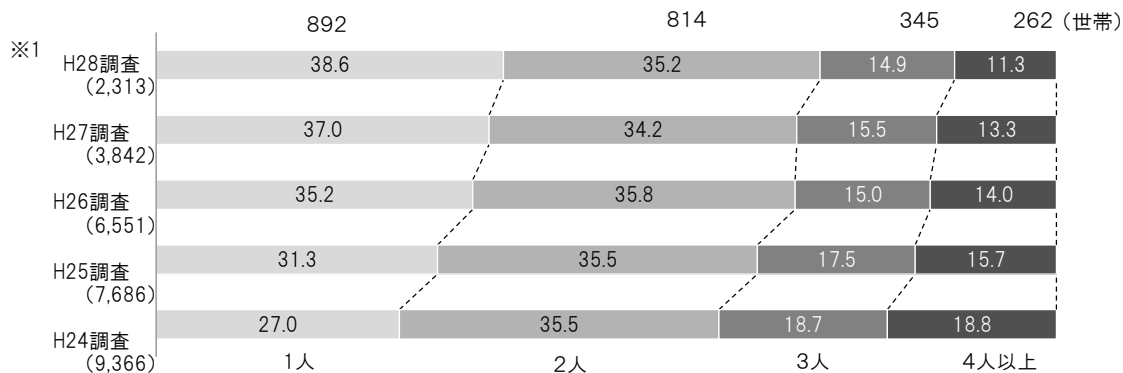
II 結果の概要

1 世帯の状況

(1) 世帯人数

世帯ごとの人数は、「1人」が38.6%と最多で、次いで「2人」が35.2%となっている。「1人」の割合は年々高くなっている。

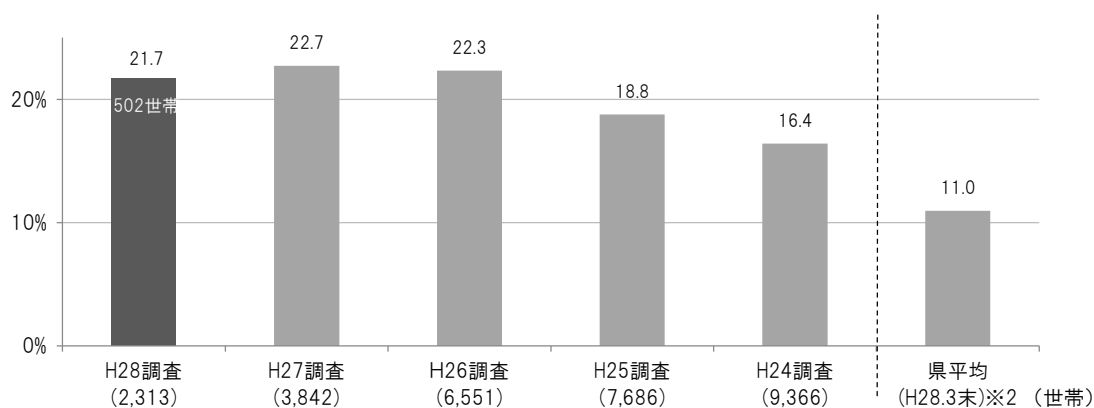
図1-1 世帯人数の割合(年度別)



(2) 独居高齢者世帯

65歳以上でひとり暮らしの世帯は502世帯ある。全世帯に占める割合は21.7%である。

図1-2 独居高齢者世帯の割合(年度別)



(注) 回答無記入・内容不明のデータは、除外して集計した(以下同じ)。

※1

H27調査: 平成27年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成27年9月~平成27年11月実施)(以下同じ)。

H26調査: 平成26年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成26年9月~平成26年11月実施)(以下同じ)。

H25調査: 平成25年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成25年9月~平成25年11月実施)(以下同じ)。

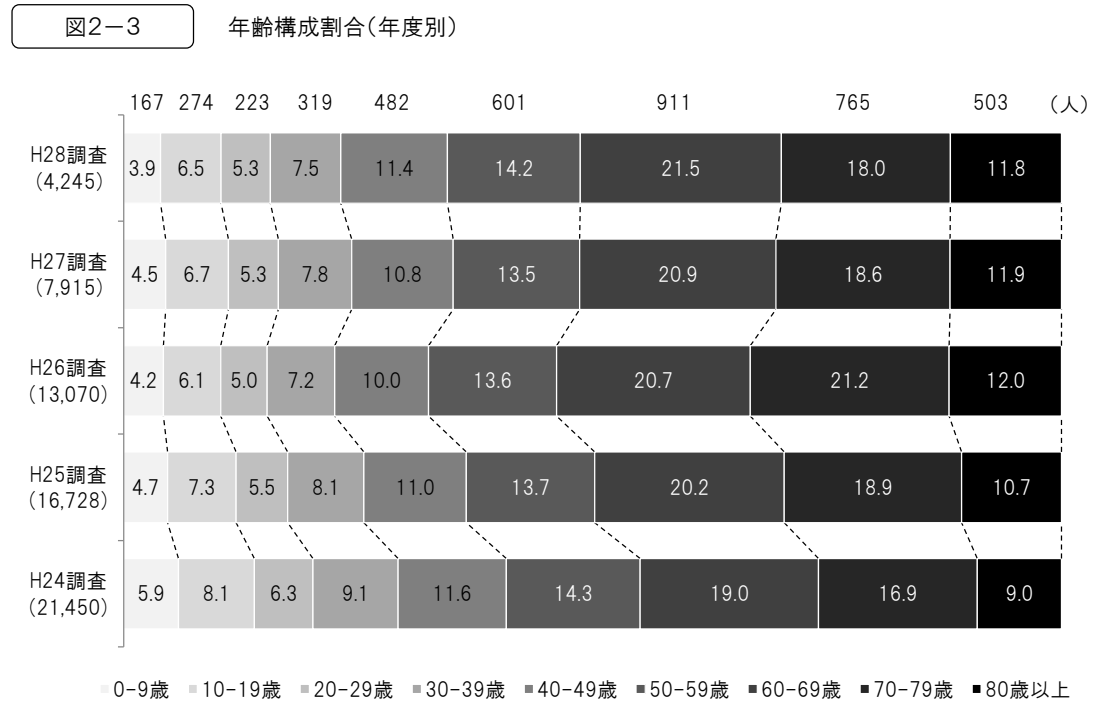
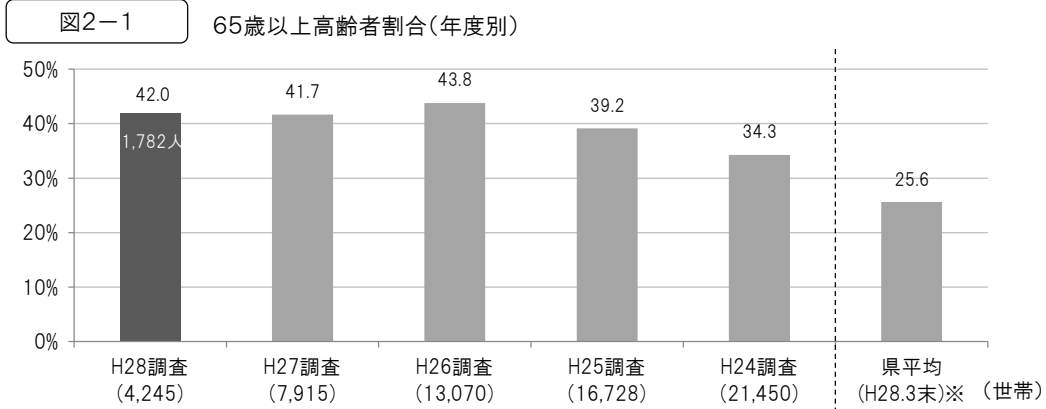
H24調査: 平成24年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成24年9月~平成24年12月実施)(以下同じ)。

※2 宮城県高齢者人口調査(長寿社会政策課)及び宮城県住民基本台帳人口及び世帯数(統計課)より。

2 調査対象者の属性

(1) 性別・年齢構成

年齢構成では、65歳以上の高齢者の割合は42.0%である。
 なお、県平均の高齢化率は、平成28年3月末現在で25.6%である(高齢者人口調査より)。



2 調査対象者の属性 (つづき)

(2)職業

職業は、「無職」が31.8%と最多で、「会社員」が19.3%、「主婦」が13.1%と続いている。前年度調査と比べると、「無職」の割合が3.0ポイント低くなった。

表2-1 職業(複数回答あり)

職業	H28調査 人数 (割合)	H27調査 (7,554)	H26調査 (12,342)	H25調査 (16,019)	H24調査 (20,740)
会社員	771 (19.3%)	18.3%	16.8%	18.0%	17.2%
公務員	39 (1.0%)	1.1%	1.1%	1.1%	1.3%
自営業	265 (6.6%)	6.4%	5.2%	4.9%	5.4%
パート・アルバイト	440 (11.0%)	9.9%	9.7%	10.2%	9.9%
農業	28 (0.7%)	1.0%	1.1%	1.6%	1.3%
漁業	161 (4.0%)	4.7%	4.6%	4.6%	4.4%
主婦	525 (13.1%)	11.1%	11.9%	10.9%	12.1%
学生	315 (7.9%)	8.2%	7.8%	9.1%	10.2%
無職	1,271 (31.8%)	34.8%	36.9%	34.6%	32.7%
その他	182 (4.6%)	4.6%	5.0%	5.0%	5.5%
合計	3,997 (100.0%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3)無職の理由 (15歳から64歳まで)

「無職」と回答した人のうち、15歳から64歳までの人で、「求職中」と回答した人は33.4%、「病気療養中」と回答した人は16.1%であった。

図2-4 「無職」の理由(15歳から64歳まで)

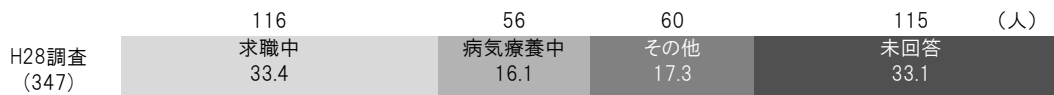


図2-5 「求職中」の人の割合(性別、年代別、15歳から64歳まで)

(割合/年代)

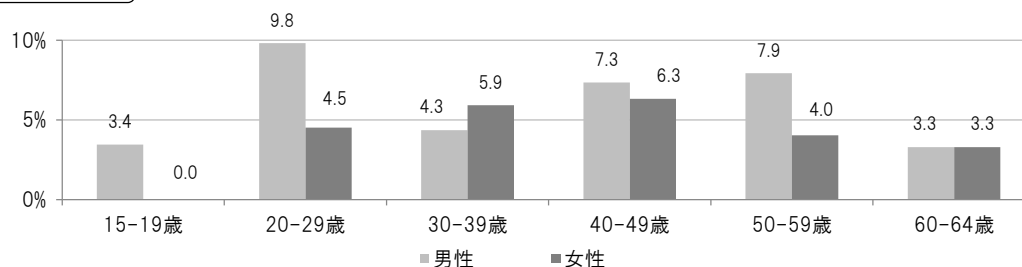
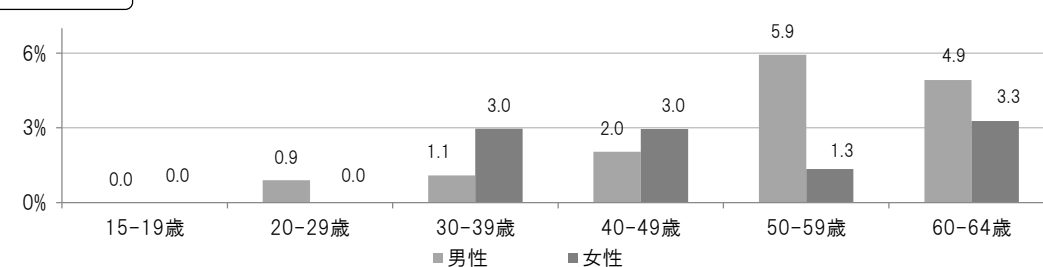


図2-6 「病気療養中」の人の割合(性別、年代別、15歳から64歳まで)

(割合/年代)



3 健診の受診状況

「最近1年間に健診を受けた」と回答した人は、73.7%であり、前年度調査と比べると1.4ポイント高くなった。

図3-1 健診受診の状況(年度別)

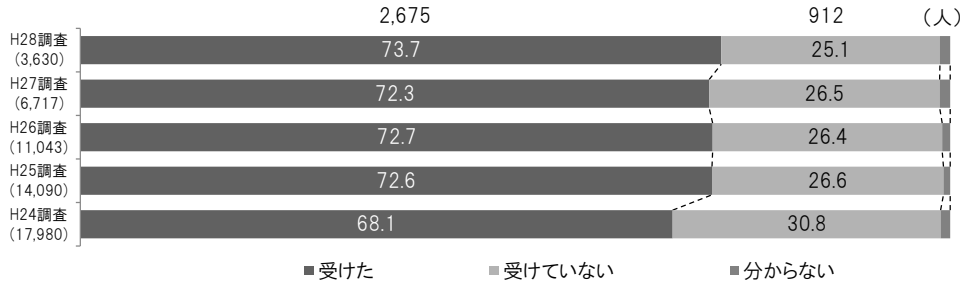
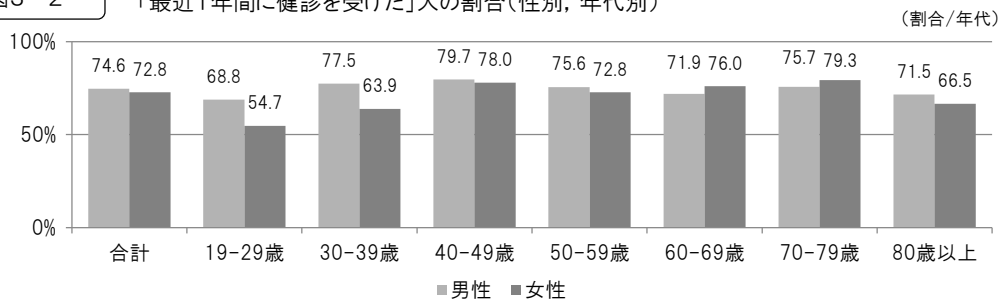


図3-2 「最近1年間に健診を受けた」人の割合(性別, 年代別)



4 疾病の状況

現在、「病気がある」と回答した人の割合は52.8%であった。

図4-1 現在の病気の有無(年度別)

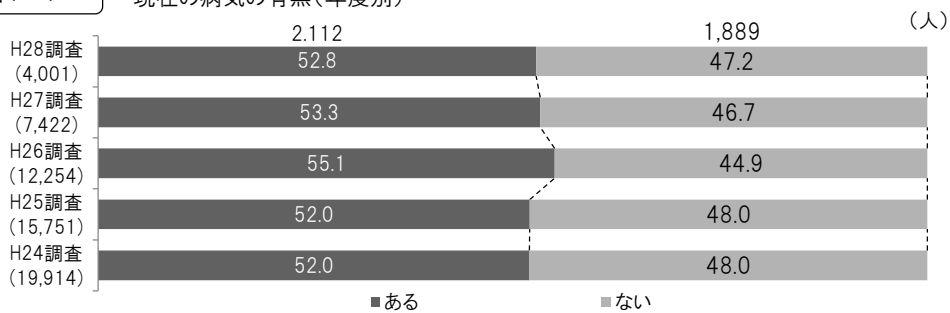
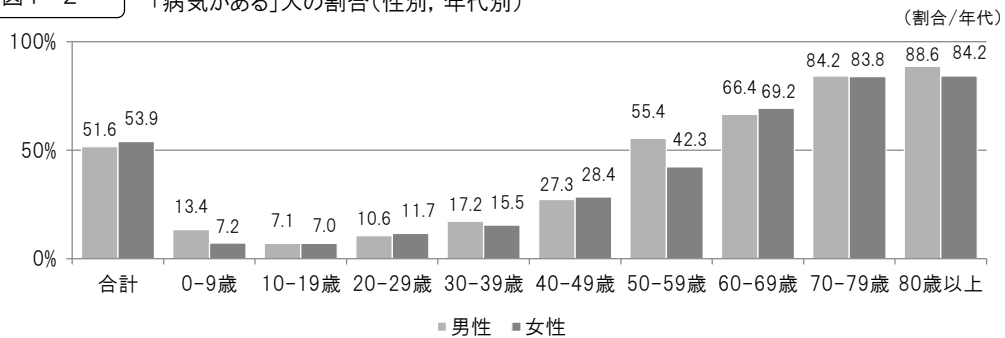


図4-2 「病気がある」人の割合(性別, 年代別)



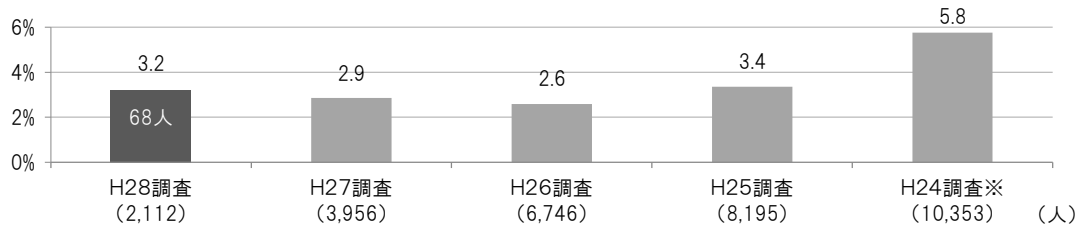
4 疾病の状況 (つづき)

病気別では、高血圧(30.4%)が最多で、次いで糖尿病(9.7%)となっている。また、「病気がある」が「治療を中断している」と回答した人は、病気がある人の3.2%となっている。

表4 病気の種類別(複数回答あり)

	H28調査		H27調査	H26調査	H25調査	H24調査
	人数	割合※1 (4,245人)	(7,915人)	(13,070人)	(16,728人)	(21,450人)
高血圧	1,292	(30.4%)	29.2%	30.3%	28.3%	27.3%
糖尿病	412	(9.7%)	9.0%	9.5%	8.8%	8.7%
心疾患	209	(4.9%)	4.8%	4.9%	4.5%	4.5%
呼吸器疾患	159	(3.7%)	4.0%	3.7%	3.3%	3.4%
がん	143	(3.4%)	3.7%	3.8%	3.3%	2.8%
精神疾患	135	(3.2%)	3.0%	3.2%	2.9%	3.1%
脳血管疾患	78	(1.8%)	1.7%	2.2%	2.2%	2.2%
透析	15	(0.4%)	0.5%	0.5%	0.4%	0.4%
その他	571	(13.5%)	14.3%	14.7%	15.0%	16.5%

図4-3 「病気がある」が「治療を中断している」人の割合(年度別)



※ 平成24年度調査では、「現在は通院・治療していない」と回答した人の数。

5 体調

体調については、「あまり良くない」、「とても悪い」と回答した人の割合は19.9%であった。高齢者ほど割合が高い。

図5-1 体調の状況(年度別)

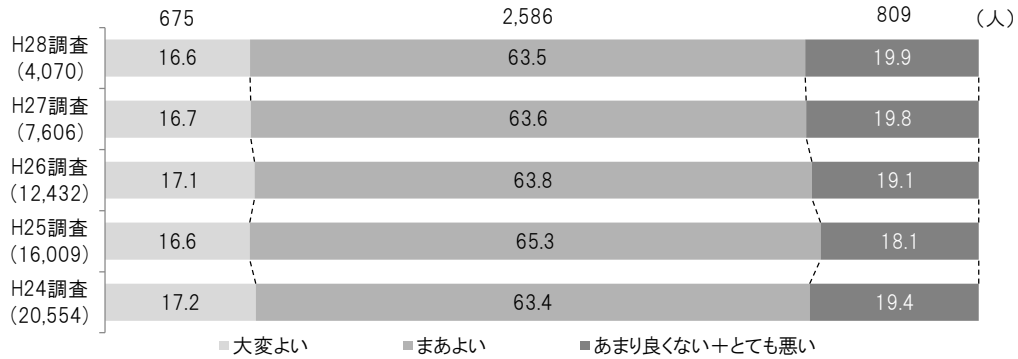
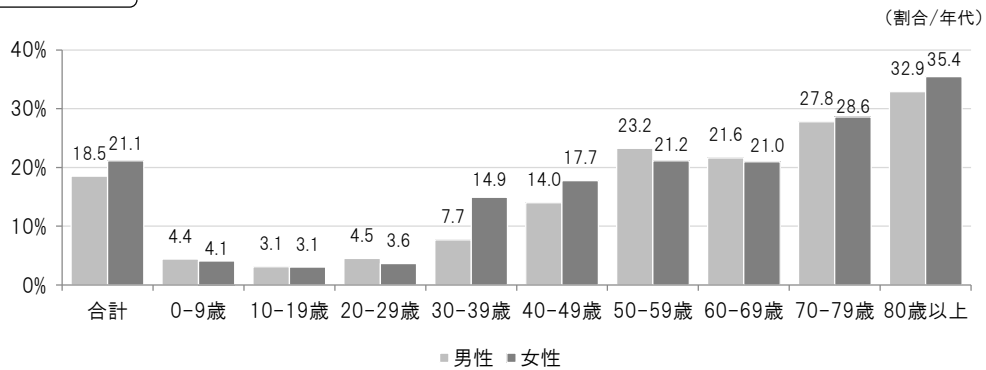


図5-2 「あまり良くない」「とても悪い」の合計の割合(性別, 年代別)



6 心の問題

不安、抑うつ症状を測定する指標であるK6(※1)で見ると、「支援が必要な程度の強い心理的苦痛を感じている」とされる13点以上の割合は7.0%であった。性別、年齢別では、40代女性が10.7%、80代女性が13.6%と高い。

図6-1 心の状況(K6, 対象:18歳以上, 年度別)

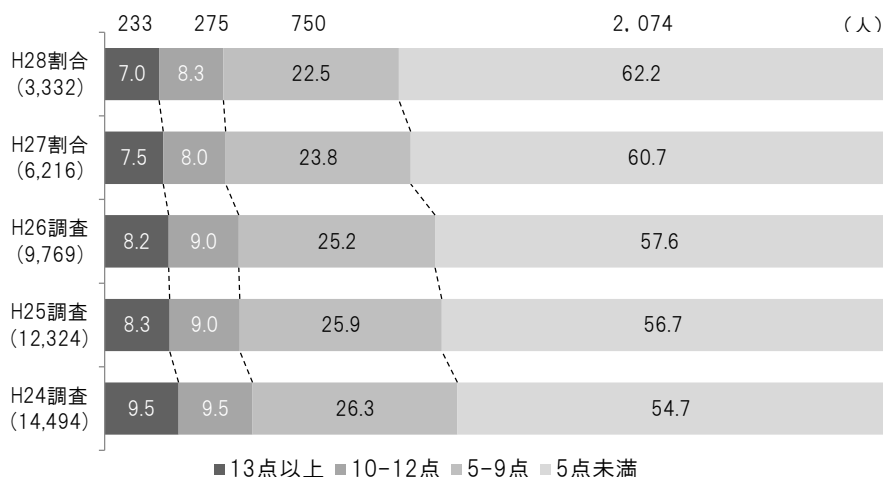
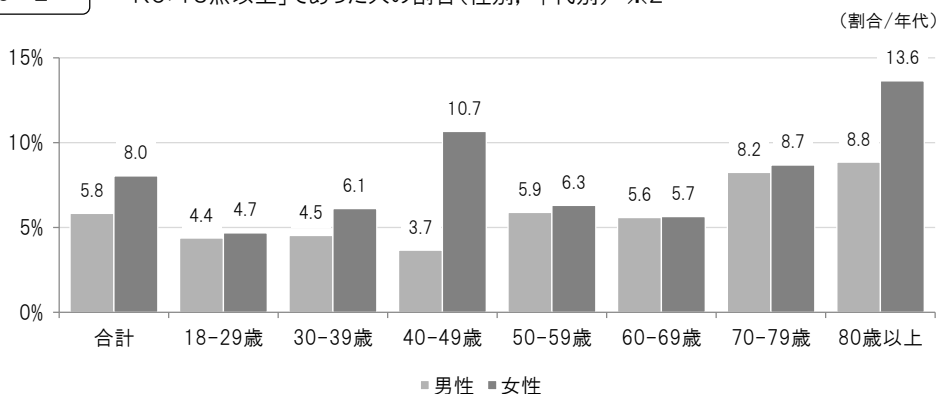


図6-2 K6「13点以上」であった人の割合(性別, 年代別) ※2



※1 K6とは

K6は米国のKesslerらによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。

「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そわそわ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」「何をしても骨折れだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」の6つの質問について5段階(「まったくない」(0点), 「少しだけ」(1点), 「ときどき」(2点), 「たいてい」(3点), 「いつも」(4点))で点数化する。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があると考えられている。

平成25年に厚生労働省が実施した国民生活基礎調査では、13点以上が4.4%であった(20歳以上。「不詳」を除いて集計)。

※2 割合は、K6について有効な回答(6項目中4項目以上の回答)があった18歳以上の人に占める割合。

7 心の動揺

「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」と回答した人の割合は13.7%となっている。前年度調査と比べて3.4ポイント低くなった。全体的に女性が高い。

図7-1 「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」人の状況(年度別)

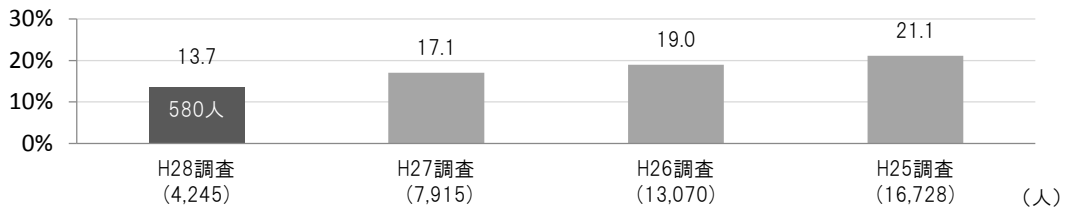
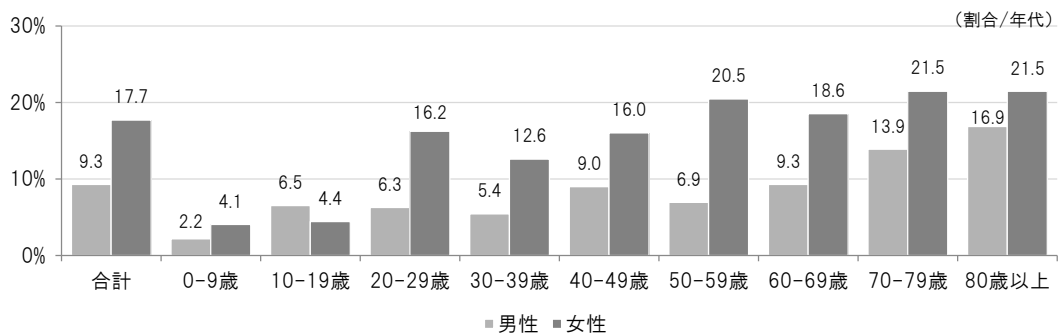


図7-2 災害を思い出して気持ちが動揺することがある人の割合(性別, 年齢別)



8 不眠の状況

「眠れない」と回答した人の割合は14.4%であり、前年度調査と比べ1.7ポイント低くなった。男女別では女性が、年代別では60歳代から80歳代で高い。

図8-1 「眠れない」人の状況(年度別)

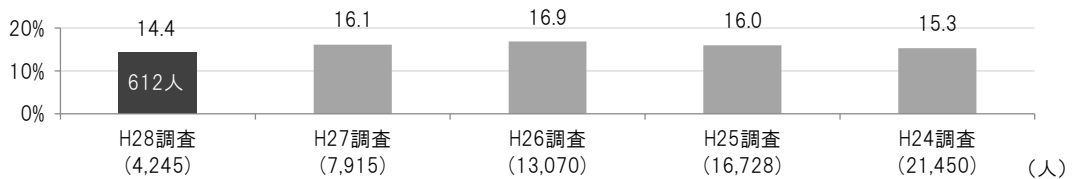
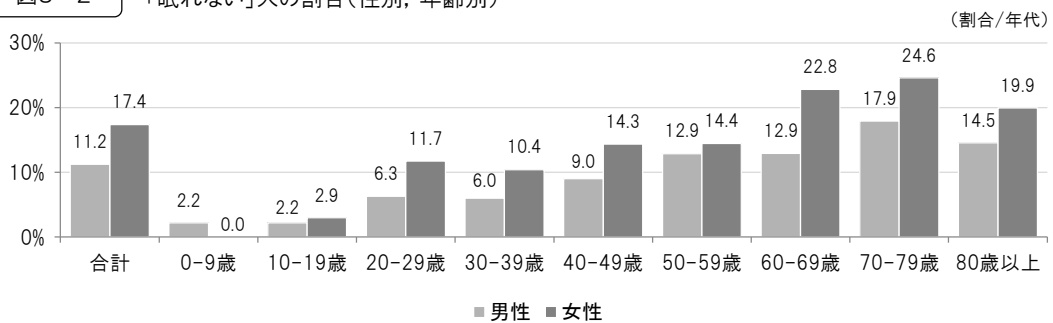


図8-2 「眠れない」人の割合(性別, 年齢別)



9 飲酒の状況

(1) 朝又は昼からの飲酒状況

「朝又は昼から飲酒することがある」と回答した人の割合は1.8%である。全体的に男性の割合が高く、60歳代男性が6.1%であった。

図9-1 「朝又は昼から飲酒することがある」人の割合(年度別)

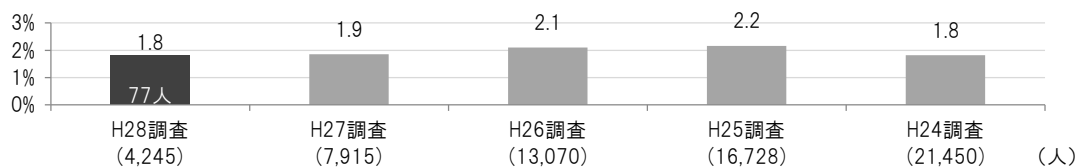
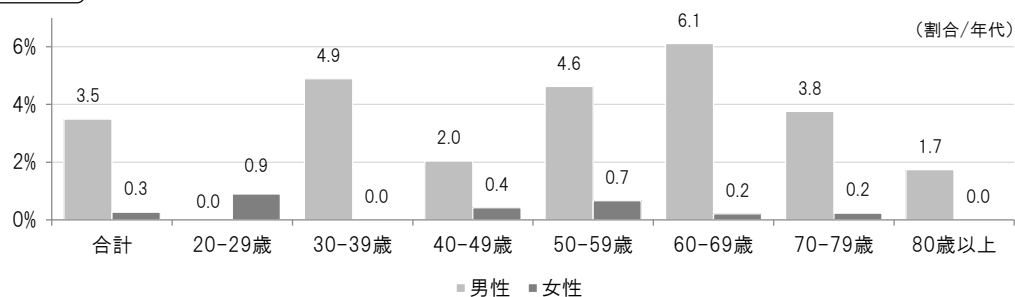


図9-2 「朝又は昼から飲酒することがある」人の割合(性別, 年齢別)



(2) 多量飲酒の状況

「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」と回答した人の割合は8.6%であり、前年度に比べて0.9ポイント低くなった。全体的に男性の割合が高く、50歳代男性が26.4%であった。

図9-3 「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」人の割合(年度別)

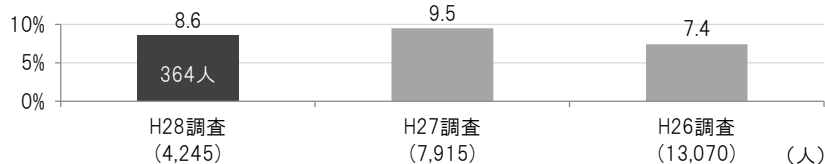
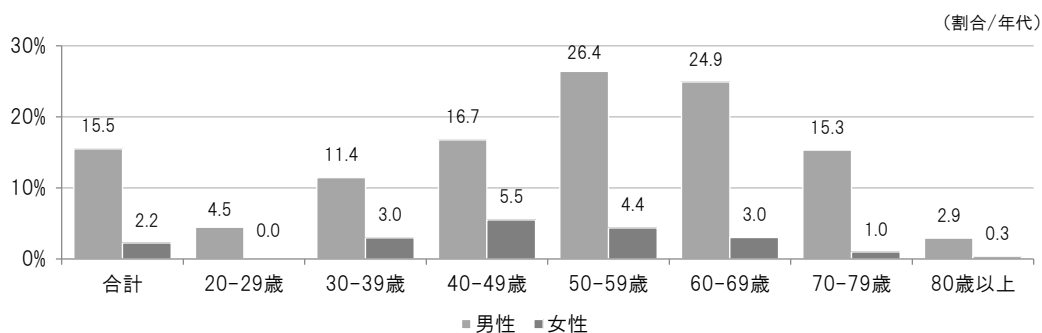


図9-4 「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」人の割合(性別, 年齢別)



10 食欲及び体重変化の状況

「食欲がない」と回答した人の割合は3.1%であった。
 「一年前に比べて体重が減少した」と回答した人の割合は11.5%であった。
 「一年前に比べて体重が増加した」と回答した人の割合は15.1%であった。

図10-1 食欲及び体重変化の状況の割合

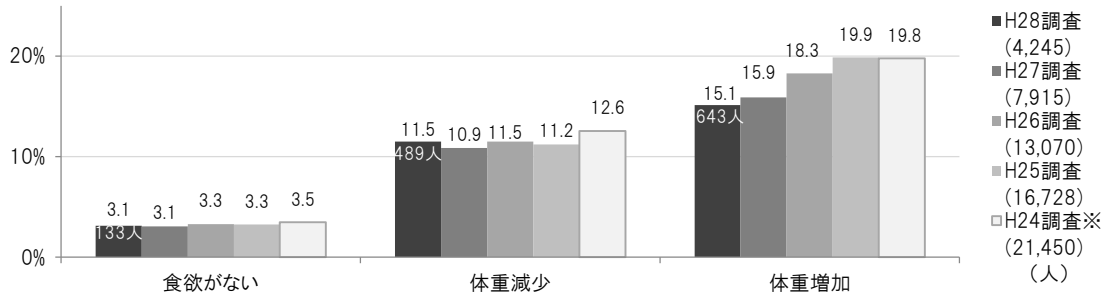


図10-2 「食欲がない」人の割合(性別, 年齢別)

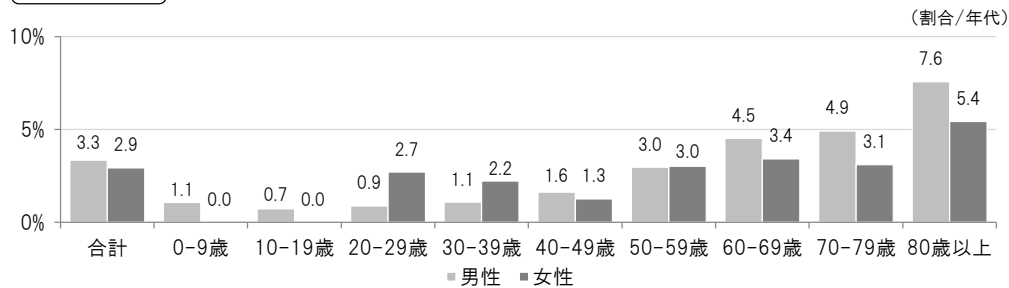


図10-3 「体重が減少した」人の割合(性別, 年齢別)

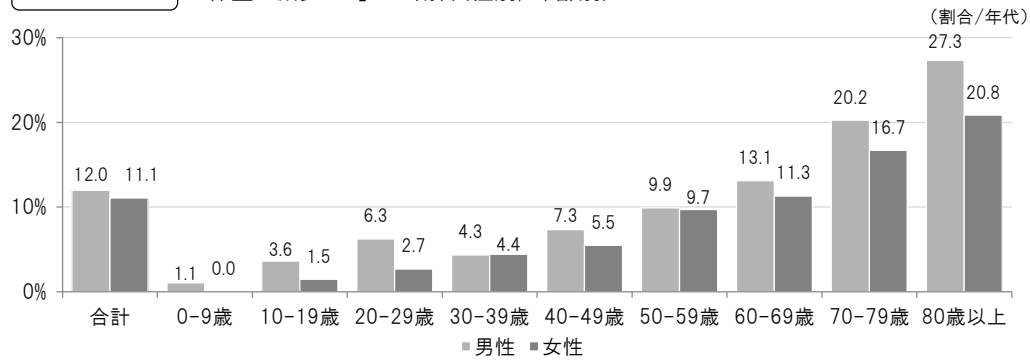
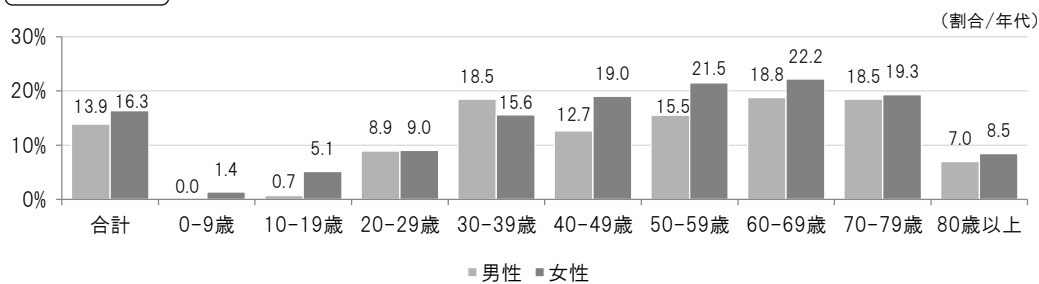


図10-4 「体重が増加した」人の割合



※ 平成24年度は「震災前に比べて体重が減少又は増加した」割合。平成25年度以降は「1年前に比べて体重が減少又は増加した」割合。

11 相談相手の有無

「相談相手がいる」と回答した人の割合は81.1%であり、前年度調査と比べて1.3ポイント高くなった。一方で、性別・年代別では、50歳以上の男性で「相談相手がない」と回答した人の割合が高い。

図11-1 相談相手の有無

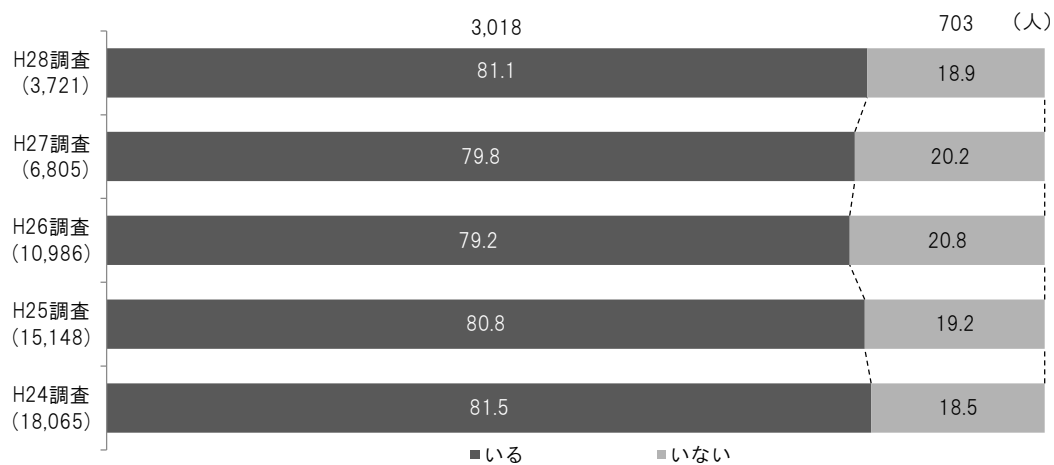
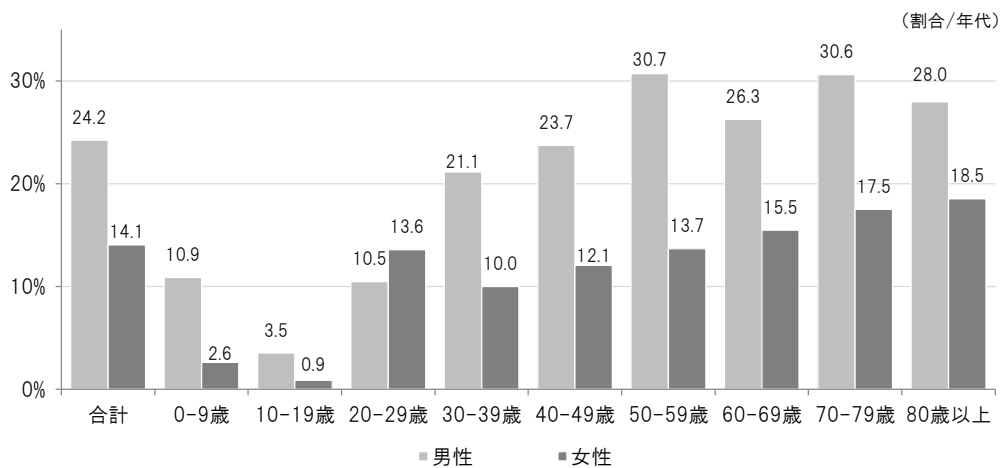


図11-2 「相談相手がない」人の割合(性別、年代別)



12 体を動かす機会の変化

震災前に比べて日頃の生活で体を動かす機会が「増えた」、「変化なし」と答えた人の割合は51.2%である。前年度調査に比べて1.6ポイント高くなった。

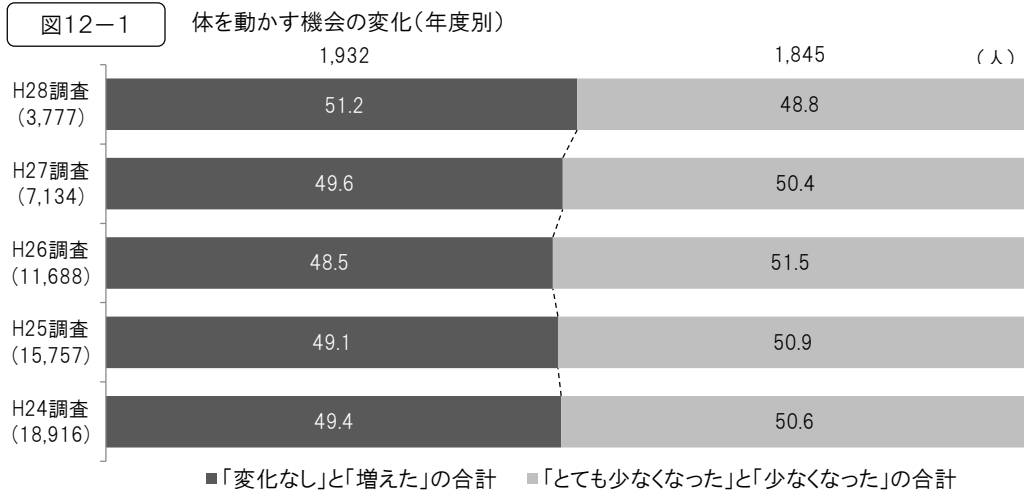
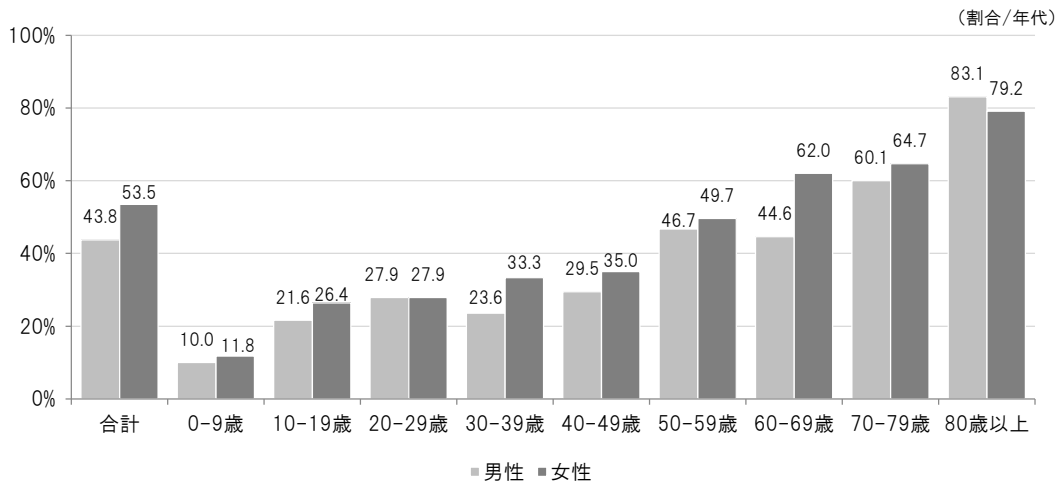


図12-2 「とても少なくなった」と「少なくなった」の割合 (性別, 年代別)



13 行事への参加状況

地域との交流行事に「参加している」と回答した人は39.8%である。男女別では女性で高くなっている。年代別では「参加している」と回答した人の割合が、20歳代で低く、70歳代で高くなっている。

図13-1 行事への参加(年度別)

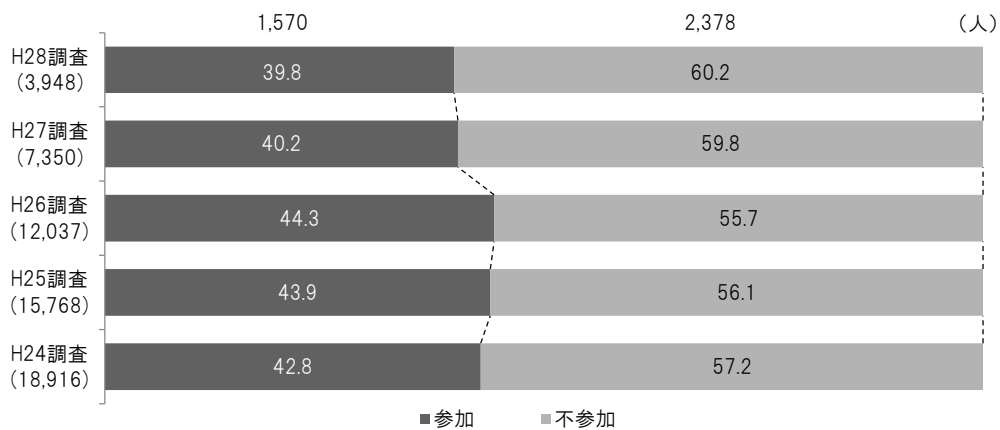
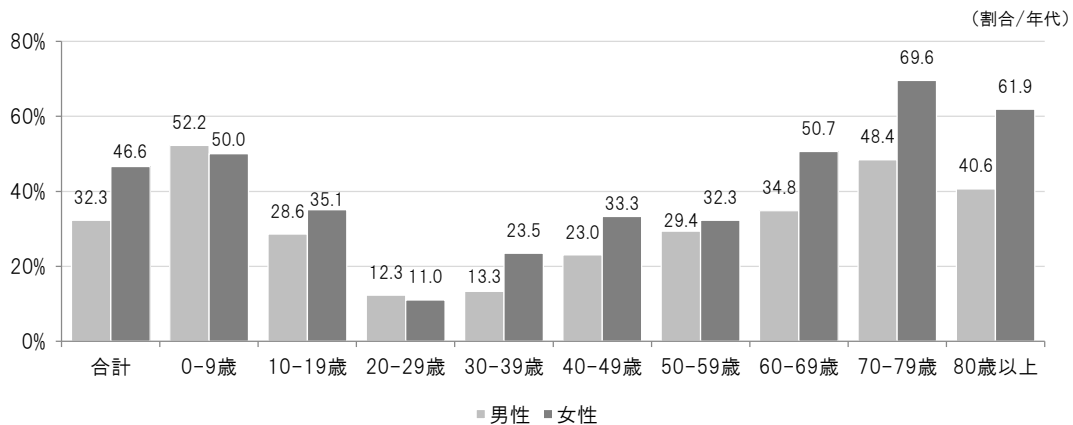


図13-2 参加している人の割合



14 要介護認定の状況

65歳以上に占める要介護・要支援認定者の割合は15.2%である。また、認定者のうち、サービスを利用している人の割合は、67.8%で、前年度調査と比べて8.4ポイント高くなった。

表14 要介護認定の状況

	H28調査		H27調査		H26調査		H25調査		H24調査			
	認定者		サービス利用		認定者		サービス利用		認定者		サービス利用	
	人数	割合※1 (1,782)	人数	割合※2	割合※1 (3,297)	割合※2	割合※1 (5,723)	割合※2	割合※1 (6,550)	割合※2	割合※1 (7,343)	割合※2
要支援1	62	(3.5%)	32	(51.6%)	4.2%	38.8%	4.4%	46.8%	4.4%	34.8%	3.8%	45.0%
要支援2	81	(4.5%)	60	(74.1%)	3.5%	64.1%	4.0%	54.4%	3.6%	49.8%	3.1%	54.2%
要介護1	38	(2.1%)	26	(68.4%)	2.1%	64.3%	2.0%	70.2%	2.3%	57.7%	2.9%	63.4%
要介護2	39	(2.2%)	24	(61.5%)	2.2%	74.6%	1.8%	68.3%	2.4%	66.9%	2.0%	74.7%
要介護3	19	(1.1%)	17	(89.5%)	1.4%	71.7%	1.5%	72.3%	1.1%	67.6%	1.6%	68.7%
要介護4	19	(1.1%)	15	(78.9%)	0.6%	71.4%	1.0%	71.9%	1.2%	67.1%	1.1%	75.0%
要介護5	12	(0.7%)	9	(75.0%)	0.6%	61.9%	0.6%	78.1%	0.7%	70.2%	0.8%	72.4%
合計	270	(15.2%)	183	(67.8%)	14.7%	59.4%	15.2%	59.7%	15.7%	52.8%	15.4%	60.3%

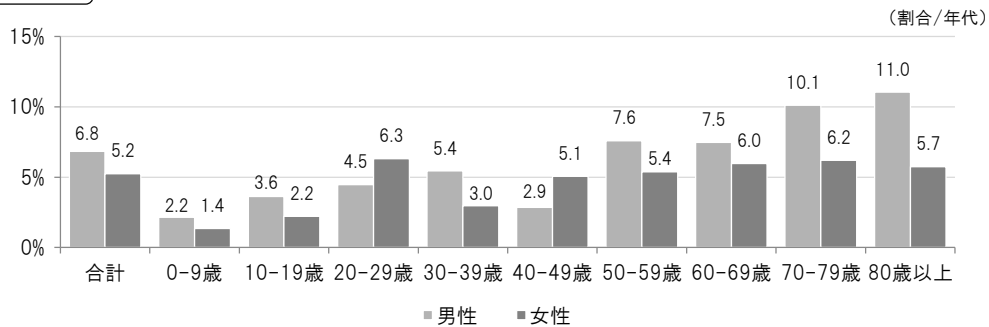
15 障害者手帳の有無

障害者手帳を持っている人の割合は6.0%である。

表15 障害者手帳の状況

	H28調査		H27調査	H26調査	H25調査	H24調査
	人数※3	割合(3,721)	割合(6,805)	割合(10,986)	割合(15,148)	割合(18,065)
手帳あり	255	(6.0%)	6.0%	6.5%	6.0%	5.4%
身体	190	(4.5%)	4.4%	5.2%	4.8%	4.4%
療育	38	(0.9%)	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%
精神	40	(0.9%)	1.0%	0.8%	0.8%	0.7%

図15 障害者手帳を持っている人の割合(性別、年代別)



※1 65歳以上の高齢者数に占める割合。

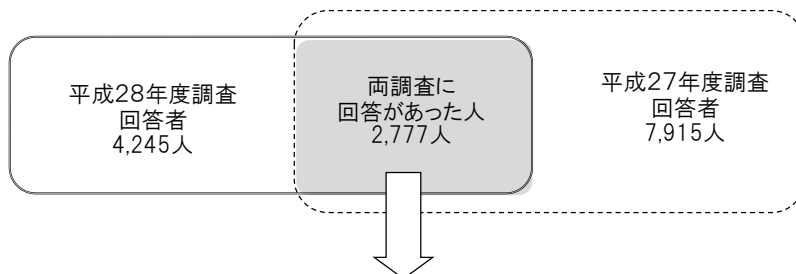
※2 要介護・要支援認定者数に占める割合。

※3 複数の手帳を所持している人や種別を記載していない人がいるため、合計は一致しない。

16 前年に引き続き回答があった人の状況

今回調査の回答者4,245人のうち、平成27年度調査でも回答があったのは2,777人(65.4%)である(平成27年度調査回答者7,915人に占める割合は35.1%)。

これら2,777人について両調査における回答を比較すると、体を動かす機会が「とても少なくなった」及び「少なくなった」は1.6ポイント、「眠れない」は1.5ポイント低くなった。



(1) 回答者の性別・年齢構成

(人)

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	65歳以上(再掲)
男性	45	81	64	104	156	207	308	240	119	1,324	534
女性	40	88	59	81	165	193	323	296	208	1,453	686
合計	85	169	123	185	321	400	631	536	327	2,777	1,220
(割合)	(3.1%)	(6.1%)	(4.4%)	(6.7%)	(11.6%)	(14.4%)	(22.7%)	(19.3%)	(11.8%)	(100.0%)	(43.9%)

(2) 回答の状況

項目	選択肢	回答人数 (割合※1)		増減
		H28調査 (2,777)	H27調査 (2,777)	
体調	「とても悪い」+「あまり良くない」	517 (19.3%)	530 (19.6%)	-13 (-0.3)
疾病の状況	「病気がある」	1,444 (54.7%)	1,441 (54.7%)	3 (0.0)
心の問題	K6が13点以上 ※1	148 (6.6%)	165 (5.9%)	-17 (0.7)
不眠の状況	「眠れない」	404 (14.5%)	444 (16.0%)	-40 (-1.5)
飲酒の状況	「朝又は昼から飲酒することがある」	46 (1.7%)	55 (2.0%)	-9 (-0.3)
食欲の状況	「食欲がない」	97 (3.5%)	78 (2.8%)	19 (0.7)
相談相手の有無	「いない」	432 (15.6%)	447 (16.1%)	-15 (-0.5)
体を動かす機会の変化	「とても少なくなった」+「少なくなった」	1,247 (44.9%)	1,292 (46.5%)	-45 (-1.6)

※1 前年に引き続き回答があった人2,777人に占める割合(心の問題※2を除く)。

※2 K6について有効な回答をした18歳以上の人に占める割合。

17 平成28年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査結果(市町別の主な項目)

仮設住宅 所在市町	配布 世帯数 【A】	回収 世帯数 【B】	回収率 【B/A】	有効回答 人数 【C】※1	高齢独居世帯 【D】人数 (D/B)	治療中断 【E】人数 (※2)	K6 13点以上 【F】人数 (※4)	朝又は昼から飲酒 することがある 【G】人数 (G/C)
名取市	407	278	68.3%	490	79 (28.4%)	11 (4.2%)	42 (10.8%)	13 (2.7%)
亶理町	7	1	14.3%	1	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
石巻市	2,335	1,309	56.1%	2,384	306 (23.4%)	42 (3.4%)	134 (7.1%)	45 (1.9%)
東松島市	462	82	17.7%	165	15 (18.3%)	2 (2.1%)	9 (7.5%)	5 (3.0%)
南三陸町	823	643	78.1%	1,205	102 (15.9%)	13 (2.4%)	48 (5.2%)	14 (1.2%)
合 計	4,034	2,313	57.3%	4,245	502 (21.7%)	68 (3.2%)	233 (7.0%)	77 (1.8%)

参考

H27調査 (7市町)	6,971	3,842	55.1%	7,915	873 (22.7%)	113 (2.9%)	468 (7.5%)	147 (1.9%)
H26調査 (8市町)	13,042	6,551	50.2%	13,070	1,463 (22.3%)	175 (2.6%)	803 (8.2%)	275 (2.1%)
H25調査 (9市町)	15,106	7,686	50.9%	16,728	1,443 (18.8%)	275 (3.4%)	1,026 (8.3%)	361 (2.2%)
H24調査 (10市町)	15,979	9,366	58.6%	21,450	1,536 (16.4%)	※3 597 (5.8%)	1,374 (9.5%)	391 (1.8%)

※1 性別及び年齢について有効な回答をした人の数。

※2 「現在病気になる」と回答した人の数に占める割合。

※3 平成24年度調査では、「現在は通院・治療していない」と回答した人の数。

※4 K6について有効な回答(6項目中4項目以上の回答)をした18歳以上の人に占める割合。

Ⅲ (参考)調査票様式

整理番号 _____

* こちらには記入しないでください。

平成28年度 健康と生活に関する調査票

- * この調査は、宮城県と市町村が、東日本大震災で被災された皆様を対象に年に1回、定期的実施しているものです。調査結果は、健康相談や生活再建に関する支援等を実施し、より充実した体制を整備するための資料とすることとしています。
- * いただいた情報を、目的外に使用することはありません。
ただし、上記目的のため、調査結果を、いまお住まいの市町村や住民票のある市町村に提供させていただきますのでご了承ください。
- * また、内容について県や市町村の保健師等がご連絡(電話・訪問等)をさせていただきます場合もありますので、よろしくお願ひします。

記入年月日	平成28年 月 日
-------	-----------------

4人以上同居している場合には、
2枚目を使用してください。

1. 世帯の状況を下記に記載願ひます。

フリガナ				この住宅に 住んでいる人数	人
世帯主氏名					
仮設住宅	市町名				
	住宅名	部屋番号			
	電話 番号	①	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)
		②	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)
	③	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)	
* なるべく、日中に連絡のつく、複数の電話番号の記載をお願いいたします。					
被災したときの住所	県	市・町・村			

住民票はどちらにありますか。県名、市町村名を下記に記入してください。

県・市町村名	県	市・町・村	区
--------	---	-------	---

ここ1年間で一緒にお住まいの方が変わりましたか。どちらかに○をつけてください。

同居している方の変化	変わった ・ 変わっていない
------------	----------------------

転居の予定がある場合には、転居予定時期と転居先を教えてください。

転居予定時期と転居先	転居予定時期 : 平成 年 月頃 転居先 :
------------	---------------------------------

宮城県・(市町名)

記入欄	
1 氏名(性別)・生年月日(年齢)	
フリガナ	①世帯主
氏名	②配偶者
性別 ①男性 ②女性	③子
生年月日 大正・昭和・平成____年 ____月____日	④子の配偶者
年齢 満 歳(11月1日現在)	⑤孫
	⑥父母
	⑦その他 ()
2 世帯主・世帯主からみた続柄	
3 職業 無職の方は該当する項目に☑を入れてください。	
①会社員	⑦主婦
②公務員	⑧学生
③自営業	⑨無職 ☐求職中
④パート・アルバイト	☐病氣療養中
⑤農業	☐他
⑥漁業	⑩その他 ()
4 過去1年間に健診(学校、職場、市町村等を実施する健診)を受けましたか。	
①受けた	19歳以上の方がお答えください。
②受けていない	
③分からない	
5 体調はいかがですか。	
①大変よい	
②まあよい	
③あまり良くない	
④とても悪い	
6 病気はありますか。 ①ある ②ない → こ に進みます。	
*「①ある」と回答した方は、病名に○をつけてください。	
病名 → ○をつけた病名 について治療の状況に○をつけてください。	
① 糖尿病 → 治療済 ・ 治療中 ・ 治療中断	頻度
② 高血圧 → 治療済 ・ 治療中 ・ 治療中断	全くない
③ がん → 治療済 ・ 治療中 ・ 治療中断	少しだけある
④ 心疾患 → 治療済 ・ 治療中 ・ 治療中断	時々ある
⑤ 脳血管疾患 → 治療済 ・ 治療中 ・ 治療中断	たいていある
⑥ 呼吸器疾患 → 治療済 ・ 治療中 ・ 治療中断	いつもある
⑦ 精神疾患 → 治療済 ・ 治療中 ・ 治療中断	
⑧ 透析 → 治療済 ・ 治療中 ・ 治療中断	
⑨ その他 () → 治療済 ・ 治療中 ・ 治療中断	
7 こころの問題についてお聞きします。 過去30日間に、どれくらいの頻度で下記のことがありましたか。 全ての項目のあてはまるところに○をつけてください。 ない場合は、「全くない」に○をつけてください。	
18歳以上の方がお答えください。	
8 現在の状況について、①~⑤に当てはまるものがある場合には、番号に○をつけてください。 体重の増減があった場合にはその量についても記載してください。	
①眠れない	⑨ 次のような飲酒の習慣はありますか。(当てはまる全てに○をつけてください) ①朝または昼から飲酒することがある ②週4日以上かつ1日3合以上飲酒する *3合目安:以下のいずれか。清酒3合、ビール中瓶500ml×3本、焼酎(25度)330ml、ワイン100ml×6杯
②何かのきっかけで、災害を思い出して気持ちが動揺することがある	
③食欲がない	
④1年前に比べて、体重が減少した (kg減) *健康のために意識的に減らした場合は除く	
⑤1年前に比べて、体重が増加した (kg増) *成長期による体重の増加は除く	
9 震災前比べて、日頃の生活で体を動かす機会はどうなりましたか。	
①とても少なくなった	⑩ 自治会や集会所で開催される行事への参加等、地域との交流の場へ参加していますか。 ①参加している ②参加していない
②少なくなった	
③変化なし(もともと少なかった)	⑪ 介護保険の認定を受けていますか。 ①いいえ ②要支援1 ③要支援2 ④要介護1 ⑤要介護2 ⑥要介護3 ⑦要介護4 ⑧要介護5
④変化なし(よく動いている)	
⑤増えた	⑫ 悩みなどを相談できる相手はいますか。 ①いる ②いない
13 介護保険の認定を受けていますか。	
*サービス利用の有無 ①有り ②無し	
14 障害者手帳をお持ちですか。	
*サービス利用の有無 ①有り ②無し	